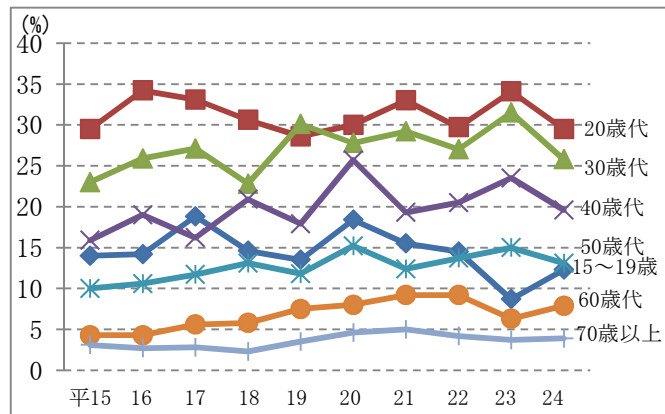


食育関連指標の経年推移

図表1

1-① 朝食欠食率(男) (%)

区分	平15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
15~19歳	14.0	14.2	18.8	14.6	13.5	18.4	15.5	14.5	8.7	12.3
20歳代	29.5	34.2	33.1	30.6	28.6	30.0	33.0	29.7	34.1	29.5
30歳代	23.0	25.9	27.1	22.8	30.1	27.8	29.2	27.0	31.5	25.8
40歳代	15.9	19.0	16.2	20.9	17.9	25.7	19.3	20.5	23.5	19.6
50歳代	10.0	10.6	11.7	13.1	11.8	15.2	12.4	13.7	15.0	13.1
60歳代	4.3	4.3	5.6	5.8	7.5	8.0	9.2	9.2	6.3	7.9
70歳以上	3.1	2.7	2.8	2.3	3.5	4.6	5.0	4.2	3.7	3.9

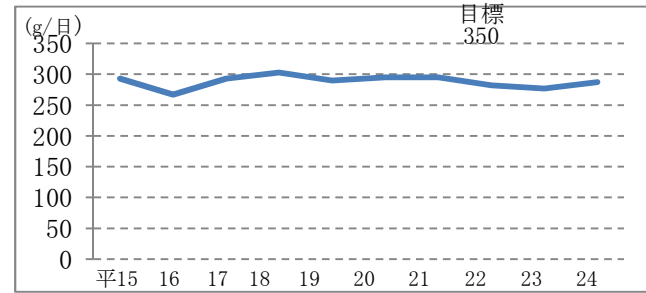


① 平15:20歳代が最も多いが、**平22~24でも、20歳代が最も多い**ことになりなし
 ② 健康日本21(第1次)の目標**350g(平22)は未達成**
 ③ 健康日本21(第2次)の目標値も350g(平34)
 ④ 平15から24は**横ばい**。
 ⑤ 唯一、15~19歳は減少傾向にある。

図表3

2 野菜摂取量(g/日・成人) (g)

区分	平15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
摂取量	293	267	293	303	290	295	295	282	277	287

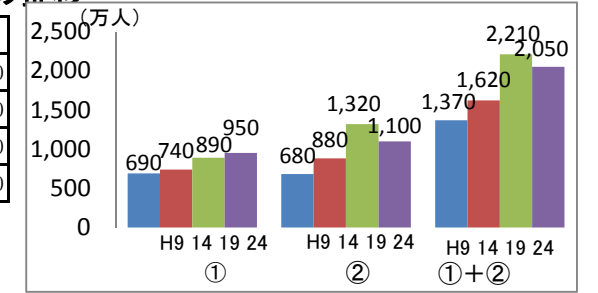


① 健康日本21(第1次)の目標**350g(平22)は未達成**
 ② 健康日本21(第2次)の目標値も350g(平34)
 ③ 平15から24は**横ばい**。

図表6

4 糖尿病有病者の推移 (万人)

区分	①	②	③
平9	690	680	1,370
14	740	880	1,620
19	890	1,320	2,210
24	950	1,100	2,050



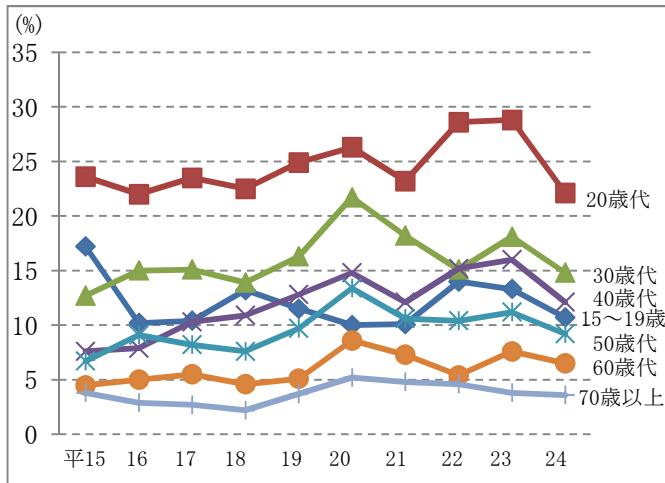
①:糖尿病が強く疑われる者
 ②:糖尿病の可能性を否定できない者
 ③:①+②

① 「糖尿病が強く疑われる者」は、平成9年以降増加
 ② 「糖尿病の可能性を否定できない者」は、平成24年に減少
 ③ 平成24年の両者の合計数は、平成9年以降、初めて減少

図表2

1-② 朝食欠食率(女) (%)

区分	平15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
15~19歳	17.2	10.2	10.4	13.2	11.5	10	10.1	14	13.3	10.7
20歳代	23.6	22	23.5	22.5	24.9	26.3	23.2	28.6	28.8	22.1
30歳代	12.7	15	15.1	13.9	16.3	21.7	18.2	15.1	18.1	14.8
40歳代	7.6	7.9	10.3	10.9	12.8	14.8	12.1	15.2	16	12.1
50歳代	6.7	9.1	8.2	7.6	9.7	13.4	10.6	10.4	11.2	9.2
60歳代	4.5	5	5.5	4.6	5.1	8.6	7.3	5.4	7.6	6.5
70歳以上	3.8	2.9	2.7	2.2	3.7	5.2	4.8	4.6	3.8	3.6

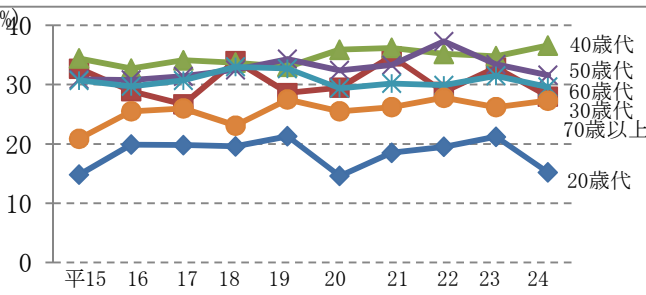


① 平15:20歳代が最も多い。
 ② 平22~24でも、**20歳代が最も多い**ことになりなし。
 ③ 20歳代は、増減を繰り返しつつも、トータルでは**横ばい**。
 ④ 30歳代、40歳代、50歳代、60歳代及び70歳以上については、平15に比べ、いずれも**増加傾向**。
 ⑤ 唯一、15~19歳は減少傾向

図表4

3-① 肥満の状況(男性・BMI25以上)

男	平15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
20歳代	14.8	19.9	19.8	19.6	21.3	14.6	18.5	19.5	21.2	15.2
30歳代	32.7	28.9	26.7	34.0	28.6	29.5	34.8	28.8	32.9	28.0
40歳代	34.4	32.7	34.1	33.7	33.0	35.9	36.2	35.2	34.8	36.6
50歳代	30.9	30.8	31.4	32.5	34.3	32.4	33.3	37.3	33.4	31.6
60歳代	30.7	29.7	30.7	33.0	32.7	29.4	30.2	29.9	31.5	29.6
70歳以	20.9	25.5	26.0	23.1	27.5	25.5	26.2	27.8	26.2	27.3

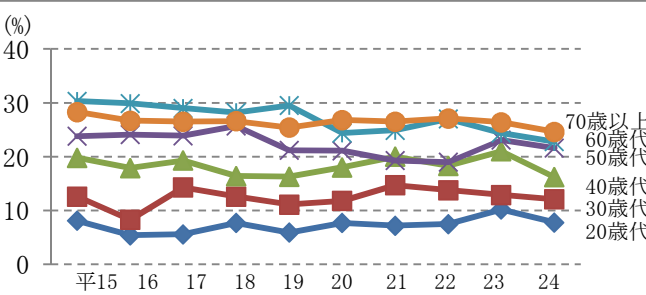


① 平22~24では、
 i) **40歳代、50歳代及び60歳代**は、いずれも**約3割が肥満の状況に変わりなし**
 ii) 30歳代は、肥満の割合が3割を下回った年もある
 ② 20歳代は、トータルでは**横ばい**。
 ③ 70歳以上では、平15~24の間で、**増加傾向**

図表5

3-② 肥満の状況(女性・BMI25以上)

女	平15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
20歳代	8.1	5.4	5.6	7.7	5.9	7.7	7.2	7.5	10.2	7.8
30歳代	12.6	8.3	14.3	12.6	11.1	11.8	14.7	13.8	12.9	12.1
40歳代	19.8	17.9	19.3	16.4	16.3	18.0	20.0	18.3	21.0	16.2
50歳代	23.8	24.1	23.9	25.7	21.2	21.1	19.3	19.0	23.1	21.6
60歳代	30.3	29.9	29.0	28.2	29.5	24.4	24.9	27.0	24.4	22.8
70歳以	28.3	26.7	26.5	26.6	25.4	26.8	26.5	27.1	26.4	24.6



① 平22~24でも、**60歳以上で肥満が多い状況に変わりなし**。
 ② しかし、**40歳代、50歳代、60歳代及び70歳以上は減少傾向**。
 ③ 20歳代は**横ばい**。

図表7

5-② 日常生活を取り巻く分野別不安の程度 (%)

区分	平 22				平 23				平 24			
	①	②	合計	順位	①	②	合計	順位	①	②	合計	順位
環境問題	44	45	89	1	38	50	87	1	29	54	84	2
自然災害	26	54	81	2	43	43	86	2	41	48	90	1
食品安全	15	54	68	5	32	44	75	3	22	43	65	4
重症感染症	24	52	76	3	13	54	68	4	21	47	67	3
犯罪	18	53	71	4	12	44	56	5	15	47	63	6
戦争・テロ	13	42	55	7	12	37	49	7	13	34	47	7
交通事故	11	52	63	6	11	45	56	6	17	48	64	5

①:「とても不安を感じる」 ②:「ある程度不安を感じる」

① 平成24年度では、食品安全について「とても不安を感じる」「ある程度不安を感じる」とする回答割合は64.8%であり、平成21年度調査以降最も低い結果。
 ② 自然災害(89.6%)、環境問題(83.5%)、重症感染症(新型インフルエンザなど)(67.4%)に比べ低いものの、交通事故(64.3%)、犯罪(62.5%)、戦争・テロ(47.1%)よりは高い。

図表8

6 食料自給率の推移(昭和40年以降)

年度	昭40	50	平13	14	15
カロリーベース	73	54	40	40	40
生産額ベース	86	83	70	69	70

年度	20	21	22	23	24
カロリーベース	41	40	39	39	39
生産額ベース	65	70	69	67	67

平15~24の間の推移は、生産額ベース及びカロリーベースともに**横ばい**

